

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	反応場に着目した piRNA 経路の生化学的解析
研究代表者	泊 幸秀 （東京大学・定量生命科学研究所・教授） ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、生殖細胞におけるゲノムの品質管理で重要な役割を担う piRNA 経路の分子機構の解明を目的としている。試験管内再構成が困難なため理解が遅れていた piRNA 経路の作動原理の解明という難題に対して、「反応場」とともに再構成するという独自の生化学的アプローチを駆使して正面から挑むものである。本研究の進展は基礎生物学に留まらず、医学をはじめとする広範な学問分野に影響を与える可能性がある。</p> <p>応募者はこれまで、siRNA や microRNA の生化学的な機能解析で卓越した研究成果を蓄積してきており、本研究を遂行することで、引き続き当該分野の研究を世界的に牽引し、大きな研究成果を上げることが十分期待できる。</p>